

競技注意事項

1 受付について

- (1) 各校引率教員は、競技開始 30 分前までに受付をすること。(教員の受付がないとき、選手は競技に出場できない)。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- (1) 招集所は 100m スタート後方に設ける。
- (2) 招集時間は次の通り。

トラック競技	競技開始時刻の 40 分前から始め、20 分前に完了
フィールド競技 (棒高跳を除く)	競技開始時刻の 50 分前から始め、30 分前に完了
棒高跳	競技開始時刻の 90 分前から始め、60 分前に完了

- (3) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

4 リレー競技のオーダー用紙提出の時刻について

	男子	女子
4×100mR タイムレース決勝	9:20	9:10
4×400mR タイムレース決勝	13:40	13:25

- (1) 上記時刻までに記録室に提出すること。
- (2) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

5 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

6 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは主催者で用意する。
- (2) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。競技終了後は速やかに返却すること。

7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用する。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検定時間	8:40 ~ 9:00
検査場所	東側器具庫前

8 競技について

- (1) 競技用靴については <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/> を参照し、順守すること。
- (2) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは 9mm 以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下のものを使用すること。
- (3) 選手及び学校関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集

- 所・競技場所に持ち込むことはできない。撮影については 14 項を参照のこと。
- (4) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
 - (5) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
 - (6) 長距離競技の給水は主催者が用意する。補助員は配置しないので、選手への給水は所属校で対応すること。
 - (7) トラック競技はすべてタイムレースで行う。
 - (8) フィールド競技は 3 回の試技で順位決定をする。また、すべての有効試技を計測する。
 - (9) 棒高跳については、天候不良の（予想される）場合、競技時刻を変更することもある。
 - (10) ジュニア三段跳の踏切板は男子 10m、女子 9m とする。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。
 - (11) 記録の掲示は行わない。記録の発表はアナウンスおよび記録速報（東三河陸上競技協会HP）で行う。

<バーの上げ方>

(男子) 走高跳 練習 (1m40 1m60)
 1m45、1m50、1m55、1m60、1m65、
 1m80、1m85、1m88.....(以降3cmずつ)

棒高跳 練習 (2m60 3m40 4m00)
 2m80、3m00、3m20、3m40、
 3m60、3m70(以降10cmずつ)

(女子) 走高跳 練習 (1m25 1m45)
 1m30、1m35、1m40、1m45、
 1m50、1m55、1m58.....(以降3cmずつ)

棒高跳 練習 (1m80 2m60)
 2m00、2m20、2m30...(以降10cmずつ)

9 表彰について

- (1) 1年生大会の種目については3位までの入賞者は賞状を授与する。リレー競技については1位のみ賞状を授与する。
- (2) 賞状の授与は顧問にまとめて行う。

10 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。

11 競技場でのウォーミングアップについて

- (1) 朝については、大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技会開始時刻の20分前までとする。
- (2) 100m、200m、ハードルの競技実施中は、バックストレートでのウォーミングアップを認める。
- (3) 400m、800m、リレーの競技実施中は、選手紹介のアナウンスが入ってから最終ランナーがゴールするまではトラック内でのウォーミングアップを禁止する。
- (4) 1500m、3000m、3000mW の競技実施中は、バックストレートの外側の

レーンを利用してウォーミングアップをしてもよい。ただし、バックストレートを競技者が通過中は認めない。なお、最小限の人数・最小限の利用にすること。

- (5) ハードル練習については、12:40～13:00（インターハイ壮行会中）に限り、ホームストレート 110mH スタート地点から 30m ほどで行うことを許可する。
- (6) 棒高跳びの競技を行っていないときに限り、棒高跳びのピット内でのウォーミングアップは認める。
- (7) 本競技会に参加していない生徒の競技場内での練習は一切認めない。
- (8) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。

12 応援について

- (1) 保護者等の一般観戦者は競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。また、正面スタンドは保護者席とし、各学校のベンチとして使用しない。なお、マネージャー等がタイム計測等で使用することは認める。
- (2) 本部前の選手の通行を禁止する。
- (3) 選手・生徒・学校関係者の応援は各校ベンチおよび土手面で行い、競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。
- (4) 競技の進行に支障のある応援を禁止する。特にスタート時は注意すること。

13 各校のベンチについて

- (1) 各校のベンチは土手面に設営すること。また、荷物については競技終了後、必ず持ち帰ること。
- (2) 各校ベンチにおいて、熱中症に十分に気を付けること。

14 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒たちの人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に関係する団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。

<撮影制限について>

- 1 撮影禁止エリアは下記の場所です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。